

辛い思いをする子どもがいなくなることを願う

平川加代子(77歳)
(大和郡山市)

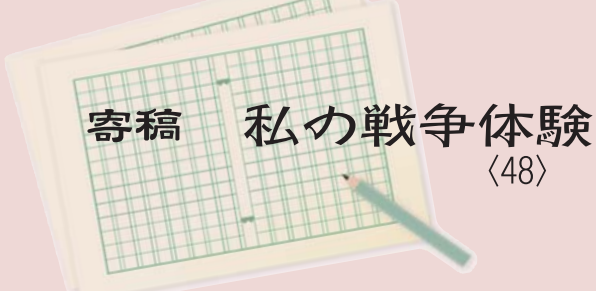
私は、「父の戦死」という形で戦争を体験しています。父と対面したのは、1944年9月、私が生まれて間もないころの一度だけです。

宮参りの晴れ着姿で、父と一緒に写った写真が、残されています。父が、海外の戦地に行く前に帰宅した時だったようです。

1945年8月8日、父は戦死しました。戦死の知らせが来たのは、終戦から随分経過してからだったようです。

祖母と兄と3人で、疎開先で暮らしていたのですが、父の死がわかるまでの間、祖母は毎日、家の前の坂道を見下ろして「K夫(4歳上の兄)、お父ちゃん、今日も帰ってけえへんかったなあ」と肩を落としていたそうです。

そして、戦死の知らせは、遺骨もなく、「南方海上で戦死」とわかるだけの粗末な物だったそうです。両親のいなくなった私



戦争体験手記募集を見て、お寄せいただいた手記を順次掲載しています。

は、「養父母のいる方がよい」とのこと、あちこちに預けられ、10歳で4軒目の家に行きました。

いろいろあり、体も辛く、心もとても切ない思いをしました。(その家の)実子との差別は明らかだったし、「あなたは孤児院にいかせよよかった」「引き取るのではなかった」と言う言葉は、いつも胸に刺さり、泣きながら眠りについた夜が多かったという事は、忘れられません。

今も世界のあちこちで争いがあり、多くの人命が奪われています。残された家族は、ずっと心の傷を負って生きています。

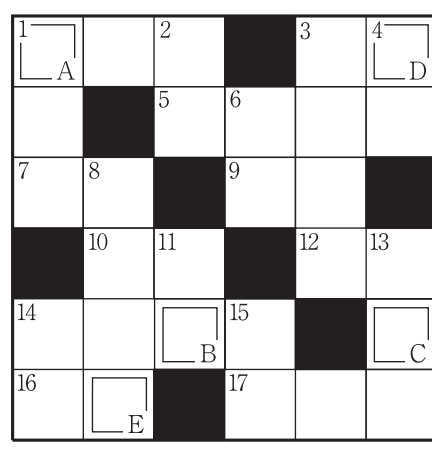
また、平和を知らないで死んでいく子どももたくさんいます。地球上から争いがなくなり、辛い思いをする子どもがいなくなることを願っています。



お楽しみクイズ クロスワードパズル

●応募方法/郵便ハガキにクイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・友の会に対するご意見等を記入の上、〒590-0821 堺市堺区大仙西町6丁184-12 友の会事務局「お楽しみクイズ」係あてに郵送か、FAX(072-244-7860)のQRコードで取得できるメール(tomo-kenkou@mimihara.or.jp)で。しめきり/2022年4月13日(水)消印有効 ●当選発表/厳正なる抽選の上、10人のかたに賞品(図書カード500円分)を。賞品の発送をもって発表に替えさせていただきます。 ●クロスワードパズル解答はがきに書かれた「ご意見」は、紙面に掲載させていただきます。ご了承ください。

カギを解き、二重ワクに入る文字をABC順に並べてできる言葉は何?



●1月号の答
「シンリンハイテトラモ
ゼツメツキキ
(森林破壊で虎も絶滅危機)」

タテのキー

- ①ホビー
②負けるが
③終わりで読み通す
④は食わねど高楊枝
⑤体操競技の運動
⑥お年玉は全部した
⑦治る。完全
⑧輪。イヤ
⑨直接。談判
⑩釣り糸に付ける浮標
⑪本場のうち。を
⑫悪天候で試合は
⑬なきを進む
⑭笑うには福来る
⑮まだ上達のあり
⑯饅頭、各月
⑰アルミの再利用
⑱王

ヨコのキー

●応募数/115通
●正解者数/102人

短歌

とうとつに スキージャンプ「金」 小林陵侑と
速報流るる 日の変わる刻 上田 雅子
米軍の ウイルス持ち込み 日本のは
パンデミックの 引き金を引く 小田 順平

俳句

春ひざし 白髪映る 傘寿きて 水野 茂子
腹立てる 気力も無くなり 朧月 林 研
つんつんと 満天星の芽の 競ひ合い 国沢恵美子

川柳

不安持ち 並ぶ検査の 先見えず 堀西 和子
コロナ下で 値上げラッシュ 耐え忍び 古賀 光政
平和戦線 命と暮しの 共闘を! 堺谷九条男

私のおすすすめ!簡単レシピ

新キャベツのツナ煮 (目安時間15分)

- 【材料】
・新キャベツ……1/4玉
・ツナ缶
・新タケノコ(ゆでたもの)
または新玉ねぎ
・醤油・みりん…各大きじ1
・粉末だし………適量



- 【作り方】
①キャベツは一口大に切る
(または、ちぎる)
②タケノコは5mmくらいの厚さに切る
③鍋にキャベツ、タケノコ、ツナ缶(汁ごと)と、醤油、みりん、粉末だしを入れ蓋をして好みの柔らかさに煮る(5分前後)
*おすすすめポイント
新キャベツ、タケノコを手軽に味わえます。

〈大西なほみさん(堺市西区)のレシピ〉
簡単に美味しいレシピをご紹介します。
材料と作り方(3行程程度)、写真(あれば)とおすすすめポイントを書いて送ってください。
採用者には、図書カード(500円)をお贈りします。

編集後記

家族がコロナに感染した。濃厚接触者で自宅待機から1週間後、自分の感染が判明し、自宅療養となった。2週間、全く身動きがとれなかった。辛い症状はなかったものの、感染者と同居の自宅待機は怖かった。感染力の強さ、広がりを実感した。なんとか食いつなぐことはできたが、自宅療養は無症状でも不安だった。「とも」では、医療や介護現場での取り組みをお知らせするとともに、「元氣」を届ける紙面に心がけたい。(明)

「とも」「同仁会報」は、ホームページでご覧いただけます。下のQRコードを読み取ってください。



◀社会医療法人同仁会「同仁会報みみはら」
http://www.mimihara.or.jp/mimihara.html



◀健康友の会みみはら一機関紙「とも」
http://www.mimihara.or.jp/tomo.html